

はじめに

福井 有 公（高等教育教授システム開発センター長）

それでは時間が参りましたので、フォーラムを始めさせていただきます。センター長の福井でございます。本日は厳しい気候の中、多数ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また講師の先生方には、ご多用のところお引き受け頂きましたことに心から感謝申し上げます。

本フォーラムは、今回で第3回目でございます。今回は大学教育の個性化というテーマを掲げさせて頂きました。約5年ほど前でございますが、ご承知の通り大学設置基準が大幅な改正を受けました。いわゆる大綱化といわれている改革が行われたわけでございます。これは従来大学教育というものがある意味では一律かつ定型的に行われておりましたところへ自由な選択を認めるという手直しであったわけでございますが、一方では我々大学側に、より社会の要請に応えうる教育、あるいはよりそれぞれの大学が特色を発揮しうる教育システムを構築するよう迫ったものでもございました。本日のフォーラムは、そういった今日の状況を踏まえて開かせて頂いております。各講師の先生方からは、それぞれのご経験あるいはご見識に基づいた貴重なお話を伺えるものと存じております。

それではご講演の開始に先立ちまして、本日来賓としてお越しいただきました京都大学井村裕夫総長からお言葉を頂きます。